

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	臨床効果データベース整備事業			担当部局	医政局		作成責任者	
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課		課長:土生 栄二	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国主導で長期的、かつ大規模の治療方法や治療効果に関するデータを収集・分析することで、効果的な治療法の普及や新たな治療方法の開発につながり、医療の質の向上に貢献する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	日本では、治療成績等の議論の前提とすべきデータが不足しているため、関係学会等が取り組む医療の質の向上の検討等に資する、患者毎の治療内容や治療効果等を登録するデータベースの構築に対し財政支援を行う。							
実施方法	補助							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-		
		補正予算	-	215	215	-		
		前年度から繰越し	-	-	215	215		
		翌年度へ繰越し	-	▲215	▲215	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	0	0	215	215	0		
	執行額	-	0	199				
執行率(%)	-	-	93%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	治療内容や治療効果等を登録する参加医療機関数を増やす。	参加医療機関数 ※26年度は集計中	成果実績		-	-	-	
			目標値	施設	-	-	30	30
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	データベースシステムの構築数	活動実績	件	-	-	3		
		当初見込み	件	-	-	3	3	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位あたりコスト=X/Y X:「補助金交付額」 Y:「データベース構築数」	単位当たりコスト	百万円	-	-	72	72	
		計算式	X/Y	-	-	215百万円/3	215百万円/3	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	-	-						
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	医療の質を向上させるため、治療内容や治療効果等を登録し、分析・活用するための情報基盤の整備への支援は日本再興戦略にも掲げられ、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医療の質を向上させるため、治療内容や治療効果等を登録し、分析・活用するための情報基盤の整備への支援は日本再興戦略にも掲げられ、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	医療の質を向上させるため、治療内容や治療効果等を登録し、分析・活用するための情報基盤の整備への支援は日本再興戦略にも掲げられ、医療の質の向上という政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	公募により実施される事業であり競争性が確保されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	当該事業は、医療の質を向上させるため、治療内容や治療効果等を登録し、分析・活用する事業であり、医療機関において提供する医療内容の向上に資する観点もあることから、事業者の負担は事業費の3分の1程度が妥当であると考えている。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	25年度と同様であり妥当と考えている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	当該事業に必要なもののみ計上している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	外部有識者により、事業計画書の改善を指示し、事業の効率化に取り組んでいる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	実施事業者である学会等においてデータベースの整備がなされている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	学会等でデータが集積されることにより、今後診療横断的な費用対効果等を踏まえた各診療方法の選択につながる。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	平成25年度補正予算による事業では、3事業者により各領域の症例を数万件の規模のデータ収集を行い、参加医療機関数も公募条件である10件を超える見込みである。			
	改善の方向性	平成26年度補正予算の事業実施に当たり、外部有識者による実施事業者に対するヒアリングを行い、実施計画の改善等を指示している。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	033		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
199百万円



【公募・補助】

A. 学会等【3機関】
199百万円

患者毎の治療内容や治療効果等を登録するデータベースの構築



【随意契約】

B. 東芝情報システム株式会社
45百万円

患者毎の治療内容や治療効果等を登録するデータベースの構築にかかるプログラム開発

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」に においてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.一般社団法人NationalClinicalDatebase			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	委託料	プログラム開発にかかる委託料	45			
	人件費	給与費等	20			
	備品購入費	サーバ購入費等	8			
	計		73	計		0
	B.東芝情報システム株式会社			F.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	プログラム開発にかかる経費	45				
計		45	計		0	
C.			G.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 NationalClinicalDatebase	患者毎の治療内容や治療効果等を登録するデータベースの構築	72	-	-
2	公益社団法人日本放射線腫瘍 学会	患者毎の治療内容や治療効果等を登録するデータベースの構築	67	-	-
3	学校法人自治医科大学	患者毎の治療内容や治療効果等を登録するデータベースの構築	60	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東芝情報システム株式会社	データベースの構築にかかるプログラム開発	45	随意契約	-